

芸術教育推進事業

「日本画を活用した美術教育」

東京芸大派遣教諭
芦原中学校 大崎 正明

概 要

<目的>

- 子どもたちに経験の少ない日本画を学年に応じて体験させ、小中高での表現力を育成する
- 県立美術館所蔵の日本画や越前和紙を活用し、美術の表現や鑑賞の能力の向上とともに、ふるさと福井に誇りをもつ子どもたちを育成する

<内容>

- ・小中高の発達段階に応じて、日本画を経験する
- ・菱田春草「落葉」の鑑賞学習の機会を提供する
- ・図工、美術教員対象の日本画に係る研修を実施し、美術教育の質の向上を図る

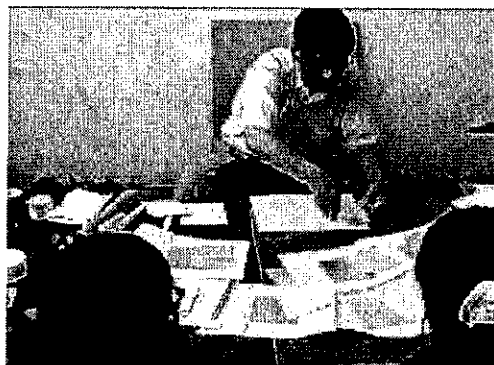
○芸大での研修概要

裏打ち

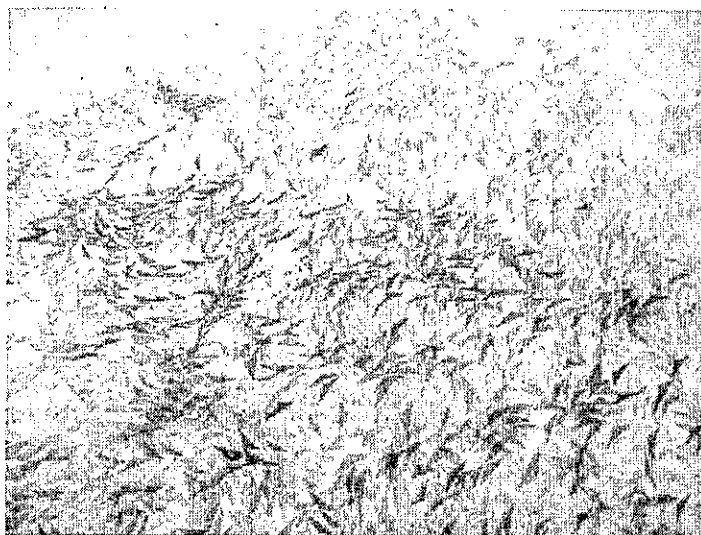


〈日本画に関する実技講義〉

金箔押し



大学院1年生による新たな日本画表現



大学院1年生による新たな日本画表現



○芸大での研修概要



作品講評会



〈日本画授業の実践校
東京都巣鴨学園(中高一貫教育・男子校)〉



○県内での活動

〈教員研修会での講師〉

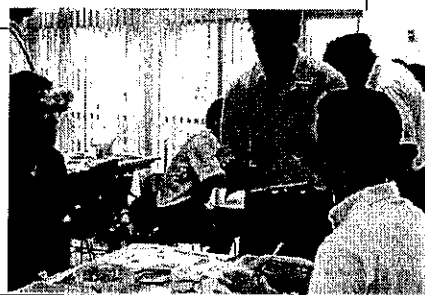
5／7 日本画実技講習会(推進校対象)

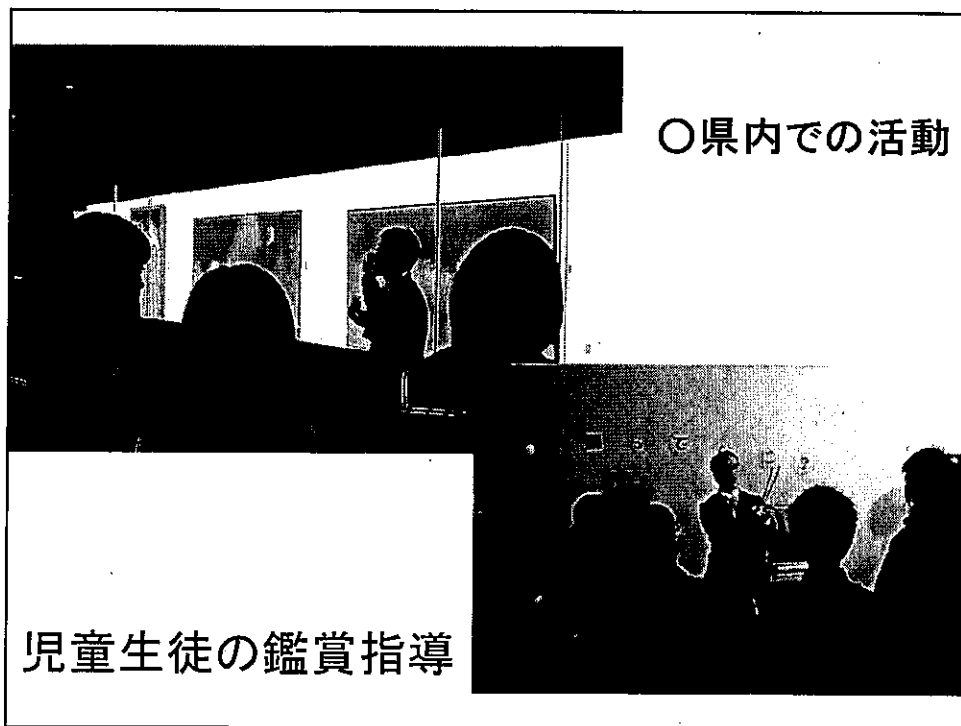
小学校教員8名、中学校教員12名 高校教員2名

7／29、8／26

教育研究所 日本の美術講座

嶺北(62名参加) 嶺南(16名参加)





○県内での活動

児童生徒の鑑賞指導

○県内での活動

〈推進校公開授業での指導助言〉

9/17 松岡中

「落葉」の魅力を探ろう～「新・落葉」への挑戦～

10/28 丹南高

日本画を描く

10/29 武生一中

日本画の魅力

10/30 武生二中

岩絵の具で描こう

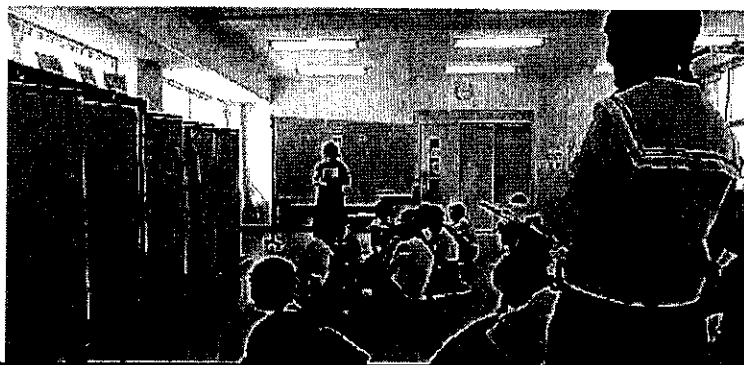


3. 推進校授業を参観して

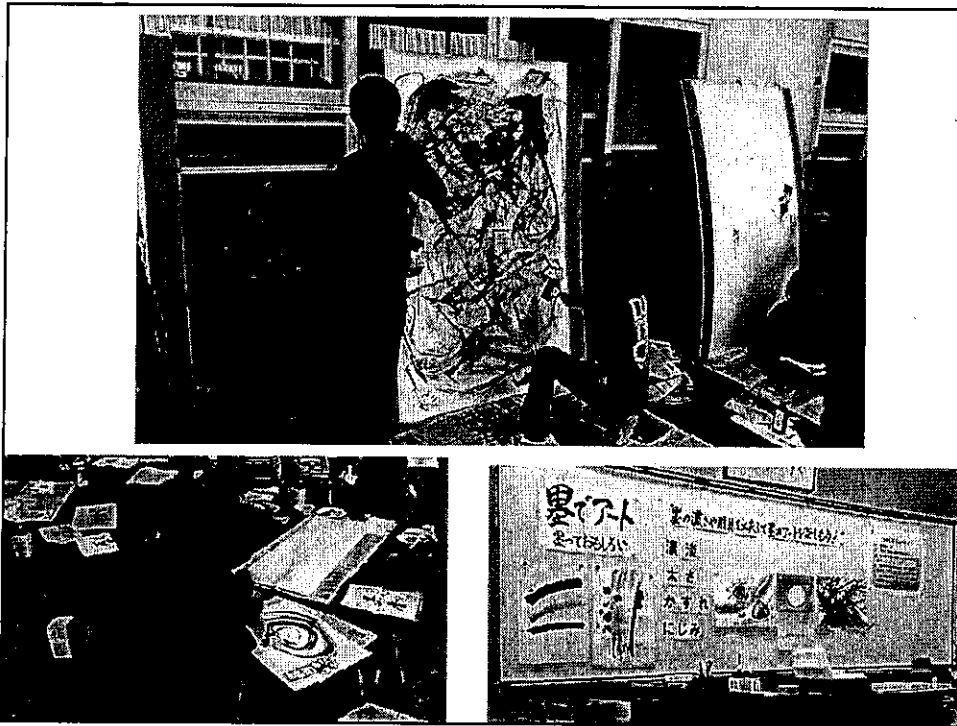
- 「落葉」実物大レプリカでの鑑賞学習

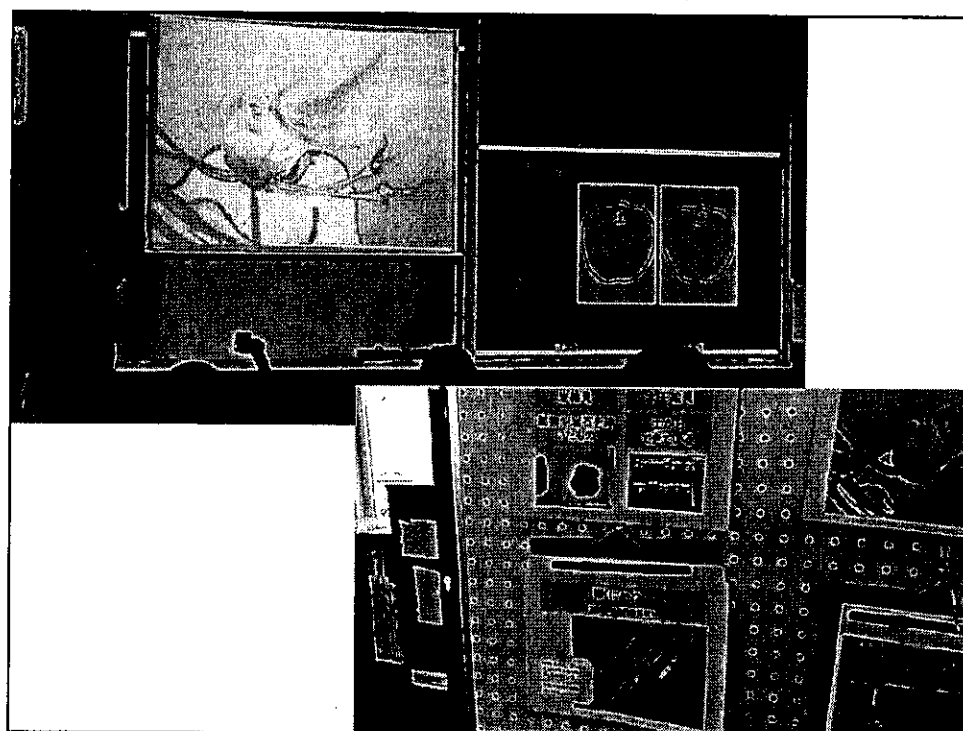
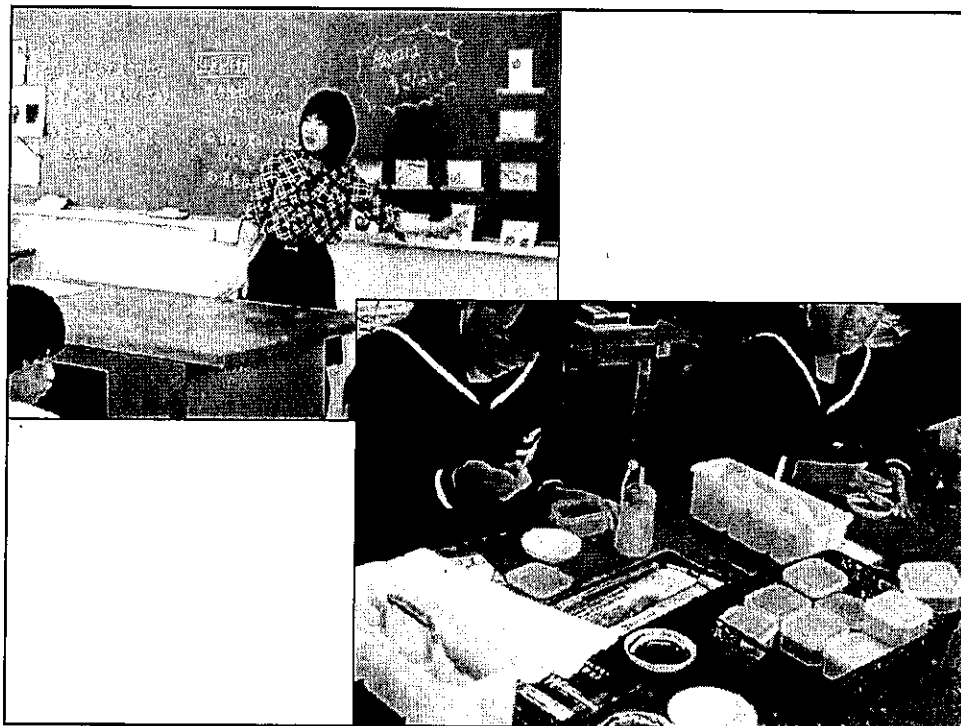
〈中学校〉

作品の色や木々の配置、落葉の様子から、当時の作者の状況にまで深く迫っている。



3. 推進校授業を参観して







4. 課題

<小学校>

- ・水墨画としてとらえるのではなく、墨と和紙を使った表現体験としての授業づくり

<中学校・高校>

- ・何をテーマして描くか
- ・限られた時間内で学習するための画材の準備
(和紙ボード、絵の具(岩絵の具、水干絵の具))

5. 次年度の実施計画

- ・小学校教員対象の研修会(県内7ブロックで実施)

墨と和紙を用いての演習と授業づくり

- ・中学校、高校教員対象の研修会(8月実施)

実物やスケッチを見ながら制作していくことの重要性について
水干絵の具と岩絵の具の併用について
膠の使い方について

- ・授業公開と他校授業公開での助言

○推進校の授業づくりへの助言	○図工・美術担当教員への日本画実技・鑑賞指導	○大学での専門的な技術や知識の修得・実践	○日本画材料、授業実践校の情報収集と配信 ○大学授業内容、美術館企画展等の情報配信
5/7 推進校への日本画実技講習 9/17 松岡中 10/28 丹南高 10/29 武生一中 10/30 武生二中 推進校授業公開での助言	7/29、8/26 教育研究所 日本の美術講座 嶺北(62名参加) 嶺南(16名参加)	〈素材論および演習Ⅰ〉 ・美術教育に関わる諸要素を素材としてとらえ、美術と教育の関係から総合的に研究する。 〈課題研究〉 「小・中・高等学校における日本画を取り入れる授業の研究」 〈美術教育論〉 〈日本美術史特講〉 〈日本画実技講義・講習会への参加〉 木材工房講義 裏打ち講義 箔講義 筆講義 「茶の湯と日本絵画」講義 〈美術教育 教育連携・企画支援〉 〈作品制作〉	・芸大通信配信 2.5回 (教育情報フォーラム) ・日本画材調査 5月 得応軒、金開堂 9月 中川胡粉店、 ウエマツ画材店 10月 山岸商店、和紙組合 ・日本画授業実践校訪問 7月 巣鴨学園

平成26年度11月以降の活動予定

11月	21 (金)	藤島高(美術1履修生徒) 院展鑑賞授業 鑑賞指導	県立美術館
	26 (水)	芸大課題研究発表内容について報告	県教育委員会
	27 (木)	課題研究 研究発表	東京芸大
12月	2 (火)	推進校児童 県立美術館企画展鑑賞 鑑賞指導 (ふれあい文化スクール：文化振興課)	県立美術館
		日之出小、敦賀北小、大島小	
	3 (水)	東安居小、有終東小、神明小、	
	4 (木)	加戸小、国高小、	
2月		小教研福井ブロック研修会 (墨と和紙を使った授業)	福井市 小学校
3月		実践事例集作成 (①墨と和紙、②日本画絵具)	県教育研究所

平成27年度芸術教育推進事業(美術)年間スケジュール

